



でんき講座

5月
VOL.47

危険！動物に関連する電気事故

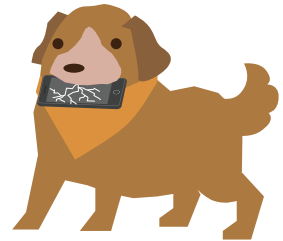
私たちの身の回りで起こる電気事故の中にはペットや小動物に関連したものがあります。思わぬ事故が起きないように事前の対策を行いましょう。



参考: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「ペット等の動物が関係する製品事故の防止について」[「身近な動物が思わぬ火災事故を引き起こします」]

事故ファイル1 犬が携帯電話をかんで破裂

充電中の携帯電話を犬がかみ、電池パック内部の電極がショート。異常発熱が生じて携帯電話が破裂し、火災が発生して携帯電話の周辺も焼けた。



アドバイス ▶ かみつきによる事故を防ぐには？

犬などのペットは小さいものを口に入れてかんでしまうことがあるため、携帯電話やバッテリーなどは放置せず、ペットが触れない場所に保管する。

事故ファイル2 猫の尿が原因で火災が発生


飼い主が寝ている間に、猫がファクシミリに尿をかけた。その尿がファクシミリの内部に入り込み、基板でトラッキングが発生。火災となり、ファクシミリの周辺を焼損した。



アドバイス ▶ ペットの尿による事故を防ぐには？

- ペットが好む排尿場所等に電気製品やコードを置かない。
- ペットの尿がかからないように電気製品にカバーをかける。
- 使わない電気製品はプラグを抜く。



- 当協会を名乗り、電話勧誘・訪問を行った末、点検料を請求するなど、悪質な事案が発生しています。不審な訪問販売やセールス電話には十分にご注意ください。
- 九州電気保安協会は  のマークの職員証を付けた作業服を着用しています。

電気に関するご相談は、最寄りの事業所またはホームページでお受けしています。

<https://www.kyushu-qdh.jp>

九州電気保安協会

検索



一般財団法人九州電気保安協会

事故ファイル3 犬が電気カーペットをひっかいて火災

犬が、犬小屋の中に敷いてあった電気カーペットをつめでひっかいた。これにより、カーペット内部の配線がショートして出火。犬小屋を設置していた倉庫部分(木造)を半焼する火事となった。



アドバイス ▶ ひっかきによる事故を防ぐには？

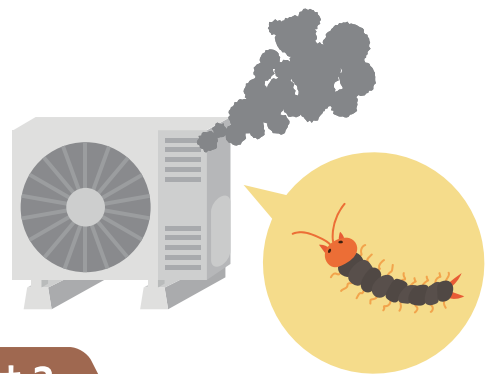
- コードにカバーをかける。
- ペットがコードをコンセントから引き抜くのを防ぐため、コンセントカバーを取り付ける。



ほあんくん

事故ファイル4 ムカデがエアコン室外機に侵入して出火

エアコン室外機の中にムカデが侵入し、通電中の基板充電部に触れたためショートが発生。室外機が出火し、焼損した。



アドバイス ▶ 小動物による事故を防ぐには？

- エアコン室外機に小動物が集まらないように、周囲にごみや段ボール、植木鉢などを置かないようにし、こまめに掃除する。
- 不意に電源が入る、スイッチが効かない、焦げ臭いにおいがするなどの異常がみられたら、直ちに販売店や製造事業者などに点検・修理をお願いする。